

平成27年度 門信徒会活動始動!

—門信徒会年次総会で年間事業計画承認—



市民に親しまれている横河川堤防の桜 (27.4.18)



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会(であ)いの時間

小僧の目

▼今年の門信徒会総会(地区世話人以上の代議員制)で、お寺のあるべき姿の中・長期ビジョン策定のために全世話人を対象に実施したアンケートの中間報告がありました▼大変示唆されることが多く、お寺としても今後活用していきたいと思えます▼その中で、気にかかったのは墓地や葬儀に関するものでした▼葬儀は誰も避けて通れないものですが、いったい誰のために、何のために行うものなのでしょうか▼葬儀が死者のための儀式と思っている人は、他人にあまり迷惑をかけないで、小規模にして「極端な言い方をすれば、とりあえず葬儀の時だけお寺にお願いして、葬儀が済めば後は用がないと考えているのではないだろうか」▼おまけに新聞にも出さないとすれば、故人が一生の間お世話になった方々にお礼も言わず、また言う機会をも失ってしまふことになりかねません▼葬儀広告「ここに生前のご厚誼を深謝し・・・」会葬御礼にも「生前賜りましたご厚誼に対しても厚く御礼申し上げます」は単なる形式でなく、喪主を中心とした残された遺族の務めだと思えます▼一方、葬儀・法事(初七日の法事)は、「仏事」とも言い、文字通り仏様の教えを聞く事・学ぶ事で、亡き人をご縁に仏の教えを聞く事が大事であります▼普段何事もない日常に、手を合わせることもない私たちに向けて最愛の肉親、友人の死という厳粛なご縁、出発点が葬儀であり、法事のお勤めなのです▼人間、死んでおしまいはなく、心の中に、生前の思い出だけでなく、尊い仏と成って、あなたを心配し、見護り、導く存在になられたのです▼故人の生前を偲んで遺影や位牌、お墓に手を合わせるだけでなく、自分が仏法に心を合わせないのであれば、仏さまとなられた故人が悲しまれるのではないでしょうか。

釋 玄真

ご寺院行事

- 6月28日(日) 第4回早朝公開講座 前 7:00
講師 林 修一先生 (塩尻市)
- 7月11日(土) 第32回ファミリー参拝 後 6:00
- 8月 1日(土) ~10日(月)
第36回早朝連続参拝
- 8月 2日(日) 新盆合同法要 前 5:30
- 8月16日(日) 孟蘭盆会法要 前 10:00

ご定例会話会

- 6月20日(土) 講師 八幡徹信先生(岐阜県)
- 7月20日(月) 講師 結城道哉先生(愛知県)
- 8月20日(木) 講師 嶋倉崇雄先生(長野市)
- 9月20日(日) 講師 青木哲静先生(富山県)
- 10月20日(火) 講師 井上慶真先生(飯山市)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

平成二十七年年度年次総会の報告

平成二十七年年度敬念寺門信徒会年次総会が四月二十五日開催された。勤行に続き、新任お世話人の紹介と委嘱が行われた後、六十四名のお世話人(代議員)の出席を得て総会を開会、議長に土井章利氏を選出し議案審議が行われた。

平成二十六年度事業・決算報告が会長・各委員長から行われ、これを承認。会長の事業報告では、第二期内陣莊嚴事業の概要や、全お世話人対象のアンケートについて触れられた。

続いて、平成二十七年年度事業計画及び予算を原案どおり承認し閉会となった。なお、質疑応答では、会員数の減少要因、一般会計以外の会計(基本金、報恩講、営繕積立)の報告書式について活発なやりとりが行われた。

ご住職は挨拶の中で、宗教法人敬念寺は八十三年目となるが、今迄の歩みに加え、「お寺三百六十度診断」、「お世話人アンケート」などを参考に、今後の在り方を検討していきたい。又、さらに、そしてもっと良いお寺にするべく、皆様のご意見を参考に組み立て、示していきたいと述べられました。

議事終了後、お世話人アンケート

トの結果概要が、主管の会報組織委員長から、パワーポイントにより報告された。

— お世話人の異動 —

四月二十五日付

退任 長い間ご苦勞様でした。

- 小林 睦巳さん (郷田)
- 中丸 勝義さん (山手)
- 上沼 清治さん (塚間)
- 西澤 宏治さん (東銀座)
- 金子 朝男さん (田中)

新任 よろしくお願ひします。

- 熊谷 直人さん (間下二)
- 千葉 俊明さん (間下二)
- 上沼 重貴さん (塚間)
- 仲田 長晴さん (東銀座)
- 北島 英和さん (塚間・田中)



お世話人を委嘱する住職

一敬念寺のあるべき姿の検討と対策(中・長期ビジョン)構築に向けて— お寺360度診断と「全お世話人対象」アンケート・長期保全営繕診断を実施!

(常任委員会で検討中27.5.16)



委託した一般社団法人「お寺の未来」から診断結果が届きました。常任委員会で内容を検討し、今後の中・長期ビジョン策定の参考にしています。

お寺三百六十度診断

前年度で、「寺院の将来あるべき姿の検討と対策」として常任委員会で検討を行ってききました。その中で、「お寺三百六十度診断」と「全お世話人対象アンケート」を実施しました。
(百十四号二頁参照)
結果等の続報を掲載します。

お世話人向けアンケート

- ・対象者 百三十二人
- ・回答者百十一人(回答率八十四%)

質問項目 十七項目

- ① 属性(年齢、世帯構成、寺・お墓の後継は?)
- ② 世話人経験年数
- ③ いままでに参加した行事事法要
- ④ 相談を受けたことの有無・内容・相談への対応
- ⑤ 法事・葬儀等お寺に相談しやすいか。相談を受ける体制整備が必要と思うか?

⑥ 敬念寺の評価は?

⑦ 分院の内容・利用方法の認知度

⑧ 年度会費の徴収状況等

⑨ お寺に足を運ぶ人が減少している原因は?

⑩ 敬念寺だよりをどの程度読んでいるか

⑪ お寺・門信徒会に望むこと

⑫ お寺の今後について心配・不安に思っていること

⑬ お世話人としての悩み

⑭ お寺に関連してのご自身の悩みごと・心配ごと

⑮ 葬儀の規模・会場、通夜会場について。お寺での葬儀、法事の場合の情報提供必要性

⑯ 開かれたお寺にするための提案

⑰ その他ご意見・要望

【紙面の都合もあり、今回は質問項目を掲載。今後適宜内容を掲載していく予定です。】



二月に、九十三歳のお母様を亡くされたばかりで、寂しさが癒えないことと思いましたが、穏やかな表情で迎えてくださいました。
祥子さんはご結婚後、義父様の計らいで御実家に夫婦で養子縁組をされ、伊藤家に戻られました。しかし、祥子さん三十歳の時、ご主人が四十歳代の若さでお浄土に往生されてしまいました。
以来、女手一つで二人のお嬢様を立派に育てられるとともに、御

しょう しき
青色
しょう こう
青光
六十二回

母が遺してくれた道を大切に生きる

伊藤 祥子 さん
岡谷市中央町

親族の方々を見送られました。

その間のご苦労は、さぞかし大変だったと思われませんが、ご本人が語ることはありませんでした。

亡きお母様の教育方針は、「趣味を持つこと」で、その中で育った祥子さんは小さいころから華道を習い、中学生の時も理解ある師匠の先生がなにかと配慮してくれ、休まずに、ずっと続けることが出来たとのことで、この先生には感謝するばかりですと仰います。

また、お母様が茶道をしていたこともあり、茶道を嗜み、更に、観世流の謡曲も三十年近く習っているとのこと。

お母様の御実家は「お香」の専門店をされていたとのこと。その影響でしょうか、日本の『和』文化へのかかわりが深く感じられました。

現在はカルチャー教室を開き、リトミック・ピアノ・習字・そしてお茶室と、ご自宅が人の集まる場所となつています。又二人のお孫さんの書いた習字紙に、朱い花まるが記され、廊下の壁に揺れており祥子さんも嬉しそうでした。

お母様が常に言われていた「ありがとう」の言葉を、大切にして生きていきたいと、最後に仰いました。

(滝川 記)

一門信徒会員投稿ひろば

阿弥陀如来に摂取されて

富士見町 小池 一彦



「善人に成りた
かった」これが三
十七歳で心身症
を自覚し、自分
の心に向き合う
までの私の偽らざる思いでした。
三人姉妹の「末っ子長男」として、
母から強く期待をかけられ、その
期待に応え「善人に成ろう」と必死
にもがきながら生き続けていた。そ
れが、子どもの頃より、二浪の末大
学を卒業し、十七年間の教員生活
を送っていた私の姿でした。

その後、三十五歳前後から体調
を崩しやすくなったのですが、当
初は内科の疾患であると、自分自
身を誤魔化し続けていました。し
かし、三十七歳になり心身症の症
状が悪化する中で、心理カウンセ
リングを受け、自分の心に向き合
わざるを得なくなったのです。

ところが、人生というものは面
白いもので、それだから私の人生
にとって最も重大な「自己再生」
の始まりとなったのです。

まず、心理カウンセリングを受
ける過程でユング深層心理学と出
会い、そこから宗教を真剣に学ぶ
ことの大切さを知らされました。

ここでは、自ずと仏教の教えに導
かれ、さらに五木寛之氏の『大河
の一滴』などのエッセイの中で、
「本願他力」に委ね切る浄土真宗
の教えに初めて触れ、この教えで
しか自分の心は救われない、本当
の安心は得られないと直感し、敬
念寺を訪ね住職とのご縁をいただ
くことになったのです。住職を始
めとする、浄土真宗の御同朋との
深く有り難いご縁の中で親鸞聖人
の教えの真髓に触れ、私の心は、
本当に救われていきました。

初めの内、頭でっかちに浄土真
宗の教理を学び天狗の様に成りか
けていた私は御同朋のご指南によ
り、「求道の方向違い」を指摘され
その鼻をへし折られました。その
時には、そのご指南がとても怖く
なつて、浄土真宗の教えから逃げ
たいとも思いましたが、阿弥陀如
来は、南無阿弥陀仏のお念仏によ
つて私を摂取し続け、けつして離
しはしませんでした。

浄土真宗の「悪人正機」の教え
は、私の心の奥でユング深層心理
学の教えとも重なり、溶け合い、
私の心を救い上げてくれました。
この私は、到底善人など成り切れ
ない。それどころか、我執を持った
人間として「悪人」そのものである。
教員の時までには認めたくもなかつ
た。宿業として誤魔化し切れない
「悪人」としての自性。阿弥陀如

来の他力、南無阿弥陀仏のお念仏
に促されるまま、これからの真実
に目を開かされ、その自覚が定ま
り、そのことよつて救われていく
真実の道。二河白道で例えられる
その道が、私の人生の前途に示さ
れたのでした。

その後の私は、家族の理解や応
援もあり、教員を辞め社会人編入
学をした大学で心理学を学び直
し、卒業後に独立。長野県などの
高校カウンセラーも兼任しなが
ら、心理カウンセラーの道を迷い
なく歩ませてもらっています。来
談して下さる方々は、常日頃か
ら、矛盾に満ち善悪裏表が至極自
然な人生において、「悪人正機」の
己が心を持って余し自ら苦悩され
ています。その来談者お一人お一人の
「あるがままの心」に寄り添わせ
ていただき、その闇のような苦し
みを共感的に味わい受容させてい
たできます。そして、そこから共
に救われていくのです。有り難い
ことに、私は心理カウンセリング
の実践を通し、その幸せを日々、心
新たに味あわせていただいでい
ております。

南無阿弥陀仏に込められた、阿
弥陀如来の本願他力の心に包ま
れ、私自身が救われた経験はこの
様にして、私とご縁ができてゆく
方々との間にも、着実に、着実に
広がつてきています。

俳壇コーナー

下諏訪町 古田 紀一
母の忌の瓢湖の照りを浴びにけり
その日父やさしかりけり雲の峰

下諏訪町 高尾 真琴
ふるさとの仏生会なり象を引く
父母の庭に手折りて盆の花



第4回 敬念寺早朝公開講座

今年も早朝公開講座を下記のように開催いたします。
父親が残した7ヘクタールの農地を中心にワイン用のブドウは、土づくりからをモットーに「オンリーワン」のワイン造りのお話しをお聞きします。

時・所 6月28日(日) 敬念寺本堂
前7:00~8:30
講師 林 修一先生(五一ワイン副社長)
講題 「大地のめぐみ」~林農園の物語~

来聴者に「桔梗ヶ原物語 林五一の生涯」の本をプレゼントします!(80部限り)→



お知らせ

—「宗教法人敬念寺」の責任役員に
山下幸治氏が就任—



責任役員であつた、牛山成二殿が昨年十二月に逝去されたため空席となつていましたが、この度、山下幸治氏（門徒総代）が後任として就任され、法的な役割を担われることとなりました。

コールガンダーへのお誘い!

仏さまの心を讃える「仏教讃歌」を本堂で大勢の皆さんと歌う楽しいコーラスの会です。
毎月第二火曜日、午後一時から三時までが練習日です。多くのご参加お待ちしております!
男性の方も大歓迎です!



練習風景 (27.3.10)

投稿ひろば(キッズサンガ編)

私とお寺

岡谷市 木下 愛来(中学一年生)

私は前までお墓参りなどでお寺に行きませんでした。でも、初めてお寺の中に入ったのは、おばあちゃんのお葬式の日でした。初めて入った時は、とても静かで落ち着いたふんいきだったので、なんだかゆっくりできるなと思いました。それから、ご本堂の中に入ると、もっと落ち着いた場所で、いつも生活している場所より静かで好きな場所になりました。

それから、おばあちゃんの月命日のころの日曜日には、家族といっしょに行きます。そうすると、おばあちゃんに会えた気がします。お経をあげて、そしてお寺様の話を聞くと、朝早く起きて来て、良かったと思います。



日曜礼拝で母さんと一緒にお勤めする
愛来(あいら)さん (27.5.17)

日曜礼拝でのお勤めにしよう

朝七時からの「日曜礼拝」でのお勤めは、長らく、初めに正信念仏偈、続いて和讃「弥陀成仏の・・・」でしたが、今年に入り、二番目にお勤めする和讃を、「道光明朗超絶せり・・・」を上げさせていただくことも多くなりました。ご住職から、この和讃を取り上げる理由が説明(ご法話)され、理解を深めながら、CDから流れる読経をお手本にお勤めしましたが、今では、この和讃を称える朝は、参拝者の声が揃ってお勤めできています。

ちなみに、日曜以外の毎朝七時から、①正信念仏偈②重誓偈でお勤めています。
また、いずれの朝も、「浄土真宗の救いのよろこび」を拝読させていただきます。(白田 記)

浄土真宗の救いのよろこび

阿弥陀如来の本願は
かならず救うまかせよと
南無阿弥陀仏のみ名となり
たえず私に呼びかけます

このよび声を聞きひらき
如来の救いにまかすとき
永遠に消えない灯火が
私の心にともります

編集後記

四月末に門信徒会年次総会が終了し今年度の活動が始まりました。お寺三百六十度診断、お世話人アンケートの結果やご住職のご意向等を踏まえながら、お寺の中・長期のビジョン策定に向けて鋭意検討をしていく一年目になります。また、寺院施設の営繕・補修の緊要度等も合わせて検討されてまいります。
今年も早朝公開講座を始め、ファミリー参拝など恒例の行事が計画されています。また、日曜礼拝、定例法話会等、聞法の機会がたくさんあります。暇を欠いて多くの皆さんがご参拝されるようお誘いいたします。
(白田 記)

如来の大悲に生かされて
御恩報謝のよろこびに
南無阿弥陀仏を称えつつ
眞実の道を歩みます
この世の縁の尽きるとき
如来の浄土に生まれては
さとの智慧をいただいて
あらゆるいのちを救います
宗祖親鸞聖人が
如来の眞実を示された
浄土眞宗のみ教えを
共によりこび広めます



(婦人部の皆さんが笑顔でお出迎え27.4.18)



(本堂で参拝後会館にて談笑27.4.18)

トピックス！
—富山県「覚円寺」門信徒会の皆さんが当山に参拝されました！—



パドマ(紅蓮)

謝いたします。
委員の方々、婦人部の方々に感謝いたします。

◇先日覚円寺の旅行でお伺いした子川と申します。
立派な本堂と庫裡にびっくりいたしました。そして又、お寺の運営のあり方、年間行事の事などスクリーンで分りやすく説明いただき、すごく教化がなされているお寺ですね。又、広い会館の方では婦人部の皆様による手作りの蕎麦羊羹とお漬物を準備して頂き、本当に有難うございました。
又、私の一番印象に残った事は、ご住職様の笑顔でした。バスが着く前から外でお待ちいただき笑顔でお話しをしていただき、帰りにも笑顔でお見送りくださり本当に心から嬉しく思いました。
住職様始め、若院様、ご門徒の委員の方々、婦人部の方々に感謝いたします。

—さる四月十八日に富山県射水市の「覚円寺」門信徒会の皆様が研修旅行で来訪されました。帰宅後、覚円寺ご住職の妹様である子川さんからお礼の葉書が届きましたので、掲載させていただきます—



【営繕(補修)必要箇所を確認する役員 27.4.19]

営繕計画策定の下準備！
—専門業者と共に寺院施設の現況確認—



(名古屋市 大田龍朗氏 母一周忌にて27.4.4)

No.4 シリーズ
住職さんといっしょ！
—大田龍朗氏のひこ孫さん—

平成27年度 敬念寺研修旅行の参加者募集！

次の日程で計画中です。広く参加者を募りますので、お誘い合わせてお申込み下さい。初参加の方大歓迎！

【毎年、和やかで楽しい旅行と好評です。あなたもどうぞ！】

—西本願寺参拝と世界遺産の姫路城見学、塩田温泉の旅—

期日 平成27年11月26日(木)～27日(金)

行程 第1日目 西本願寺参拝、京料理の昼食、おたべ本舗でお買い物、塩田温泉(泊)

第2日目 姫路城見学、灘菊の酒蔵見学と昼食、亀山御坊(本徳寺)参拝、あわじハイウェイオアシスでお買い物

費用 30,000円

定員 (40名) になり次第メ切

門信徒会費

七月末日までにご協力お願い
今年も寺の維持管理の資金、更なる教化活動の振興のため、会費のお願いに担当のお世話人が近日中にお伺いしますが、ご協力の程お願いします。
○ご依頼額は年間三千元以上